

私たちの暮らしを支える港

みなとみらい地区、赤レンガパーク、大さん橋埠頭など、「賑わいや観光」の拠点となり、再開港中です。横浜港は物流機能の中核は沖合にシフトしています

日本は、アメリカ、中国、ドイツに次ぐ世界第4位の貿易国です。その輸入を支えているのが船と港です。横浜港が開港して以来、貿易が栄えんになった日本ですがその貨物の97%は船で運ばれています。私たちの暮らしに必要なものが毎日、世界中から横浜港に届きます。そして、日本の製品もコンテナに入れて世界中へ運ばれていきます。横浜港には埠頭というものが十ヶ所あります。埠頭とは船が停泊したり貨物の積み下ろしや

コンテナが無い時代、輸送には手間や費用がかかっていた。しかし、コンテナを使用したことで輸送は速く、安全性が高まりました。それから船の大型化が進み、横浜港は本牧埠頭や大黒埠頭を建設し、コンテナ貨物専用の施設を整えました。さらに南本牧埠頭も建設しました。



世界とのつながり

コンテナ船は、日本と世界を繋げる一つの架け橋なのです。

寄港したコンテナ船



輸出計4690万トン			輸入計4481万トン		
順位	品目	貨物量	順位	品目	貨物量
1	自動車	1643	1	天然ガス	647
2	自動車部品	641	2	原油	581
3	機械	539	3	製造食品	167

順位	国	貨物量	順位	国	貨物量
1	中国	976	1	中国	854
2	アメリカ	371	2	アメリカ	663
3	韓国	236	3	オーストラリア	435

保管をする場所です。コンテナターミナルが整備されているのは、大黒埠頭、本牧埠頭、南本牧埠頭です。



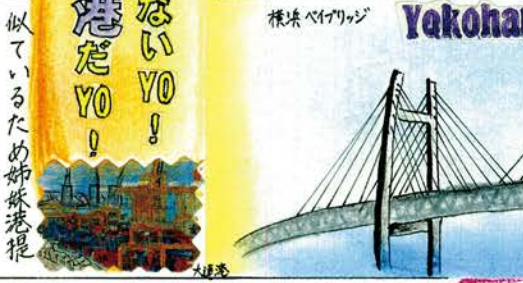
横浜港で輸出された貨物量は全部で約70万トン、輸入される貨物量は約70万トンです。貿易を始めたころは主に生糸など輸出していましたが、現代では自動車や機械などが主に輸出品となっています。

兄弟じゃないYO!
姉妹港だYO!

横浜港には、世界にいくつもの姉妹港があります。まずアメリカのサンフランシスコ湾内にあるオークランド港です。ここはサンフランシスコ湾内で扱われているコンテナ貨物の90%以上を扱う港です。提携当時、太平洋

の海を玄関と呼ばれていた。中国にある上海港や、大連港、貿易協力を進めたい。私たちが街、横浜からたくさんの方が学んでください。

似ているため姉妹港提携を行いました。次にカナダにあるバンクーバー港です。ここは国有鉄道やカナダ太平洋鉄道、カナダ横断鉄道が集まっていて、カナダの海を玄関と呼ばれていた。中国にある上海港や、大連港、貿易協力を進めたい。私たちが街、横浜からたくさんの方が学んでください。



す。映画やドラマ、歌の中にもよく登場し、ベイブリッジは横浜の象徴とも言える橋です。

最大のコンテナ港です。横浜港は世界と深く関わっていることがよく分りました。

ことなどから横浜港と姉妹提携を行いました。次にドイツにあるハンブルク港です。ここはエルベ川下流にある河川港であり、ドイツ最大のコンテナ港です。横浜港をより発展させるため、優れた施設と歴史のあるハンブルク港と姉妹提携を行いました。

現在、私たちの日本人の生活は海外の輸入品で支えられています。下の絵を見てみると、材料の約6割が輸入品で、貿易があるから日本の生活があるのです。

私たちが街、横浜からたくさんの方が学んでください。

ラリアにあるメルボルン港、ここは南半球で最大のコンテナ港です。このように横浜港は、世界の港と深く関わっています。また、貿易が行われているので、世界は一つになっていくと思います。



編集後記

私たちが街、横浜からたくさんの方が学んでください。